

チーム メタボン

椅子に座った姿勢での レジスタンス運動

ストレッチング



Contents

椅子に座った姿勢での レジスタンス運動

| | |
|---------------|---|
| ① ボール挟み | 2 |
| ② スクワット | 3 |
| ③ カーフレイズ | 4 |
| ④ レッグエクステンション | 5 |
| ⑤ ローイング | 6 |
| ⑥ 膝上げ上体カール | 7 |
| ⑦ 膝付け足上げ | 8 |

ストレッチング

上半身のストレッチング

| | |
|--------------------|----|
| ① 首まわり(僧帽筋)-1 | 10 |
| ① 首まわり(僧帽筋)-2 | 11 |
| ① 首まわり(僧帽筋)-3 | 12 |
| ② 胸部(大胸筋) | 13 |
| ③ 上背部(僧帽筋・菱形筋) | 14 |
| ④ 脇腹(広背筋) | 15 |
| ⑤ 肩と二の腕(三角筋・上腕三頭筋) | 16 |
| ⑥ お腹の横あたり(腹斜筋) | 17 |

下半身のストレッチング

| | |
|--------------------------------|----|
| ① ふくらはぎ(腓腹筋) | 18 |
| ② 太ももの裏(ハムストリングス) | 19 |
| ③ 太ももの付け根と太ももの前 (腸腰筋・大腿四頭筋) | 20 |
| ④ 太ももの内側(股関節内転筋群) | 21 |

コラム

| | |
|---------------------|----|
| ただ歩いている⇨ウォーキング！ | 22 |
| 1回の運動時間が長い方が健康になれる？ | 23 |
| エネルギー源として糖が使われると | 24 |
| 脂肪の減量には無駄？ | |

椅子に座った姿勢での レジスタンス運動

トレーニング時の6つのポイント

1. 使用筋群を意識して（イラスト●）。
2. 良い姿勢を保ちながら。
3. 反動を使わずゆっくりとした動作を繰り返す。
4. 呼吸は止まらないように。
5. 回数は、10回を目安に20～30回を目標に。
1日おきに4セットやれば、15分×週4回で3エクササイズ。
6. レジスタンス運動の後はストレッチを。

① ボール挟み



使用筋群

腹直筋・脊柱起立筋

方 法

腰部と椅子の背もたれの間にボールを挟む。

※背筋を伸ばしましょう。

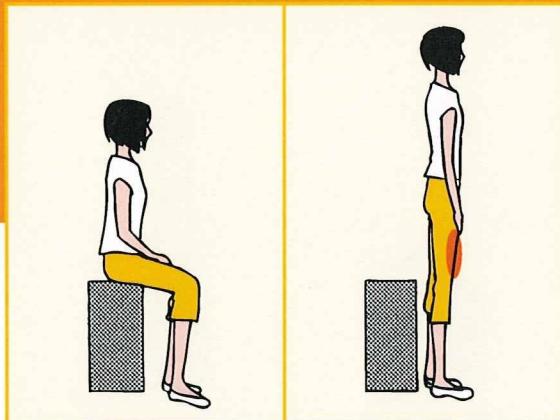
時 間

10分／日

回 数

1回／日

2 スクワット



使用筋群

大腿四頭筋

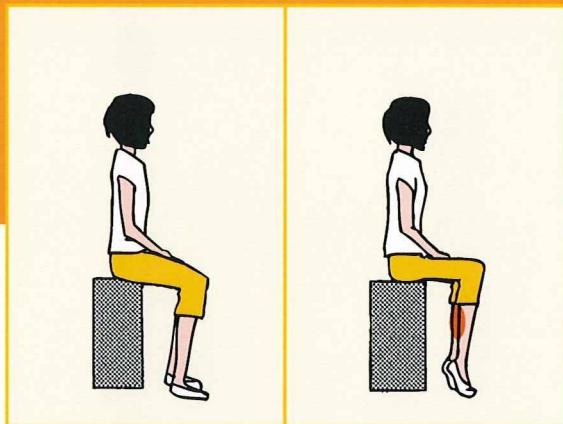
方 法

- ①バランスがとり易いところに手を置くか両手を前方に出す。
 - ②息を吐きながら椅子から立つ。
 - ③息を吹いながら座る。
- ※座る時の椅子の位置に気をつけましょう。

回 数

10回／日

③ カーフレイズ



使用筋群

腓腹筋

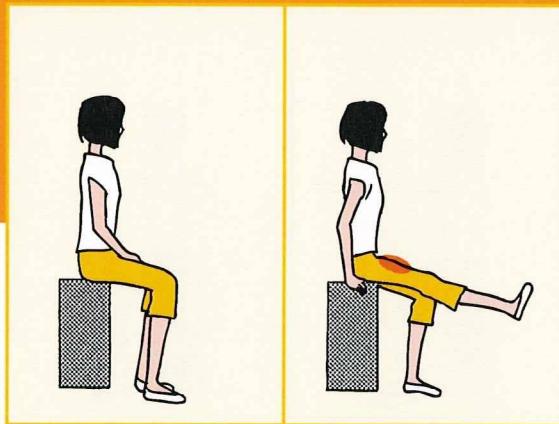
方 法

- ①背筋を伸ばし膝の上に手を置いて押す。
- ②息を吐きながら両方の踵を床から上げる。
- ③息を吹いながら踵を床に戻す。

回 数

10~20回／日

4 レッグエクステンション



使用筋群

大腿四頭筋

方 法

①背筋を伸ばし両手で椅子の横を持つ。

②息を吐きながら片方の膝を伸す。

③息を吹いながら膝を曲げる。

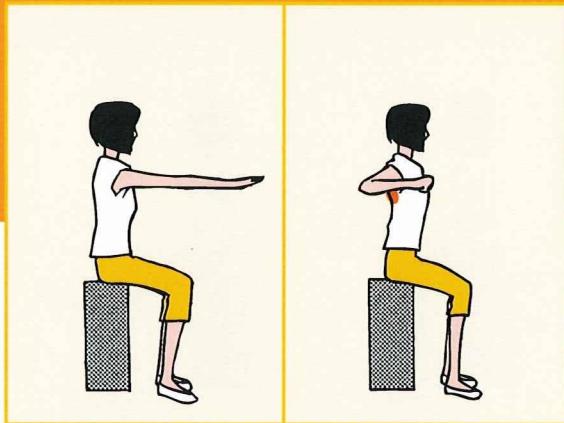
※足先は、楽にしておきましょう。

※膝を勢いよく伸ばしすぎないようにましょう。

回 数

10~20回／日

5 ローイング



使用筋群

上背部（僧帽筋・菱形筋）

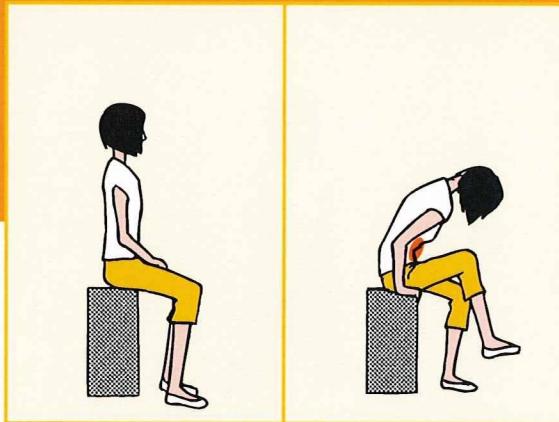
方 法

- ①背筋を伸ばし両手を前方肩の高さに伸ばす。
 - ②息を吹い(吐き)ながら両方の肘を曲げて後方に引く。
 - ③息を吹い(吐き)ながらゆっくりと肘を伸ばす。
- ※両肩甲骨を近づけるようにしましょう。

回 数

10~20回／日

⑥ 膝上げ上体力カール



使用筋群

腸腰筋・腹直筋

方 法

- ①背筋を伸ばし両手で椅子の横を持つ。
 - ②息を吐きながら上体を前方に倒し、片方の膝を胸に近付くように足を上げる。
 - ③息を吹いながら膝(足)と上体を元の位置に戻す。
- ※足先は、楽にしておきましょう。

回 数

左右各10回／日

7 膝付け足上げ



使用筋群

股関節内転筋群・股関節外転筋群

方 法

- ①背筋を伸ばし両手で椅子の横を持つ。
- ②両膝をつけて、膝から下は離れるよう(足首を曲げ、小指が天井側に上がるよう)にする。
- ③息を吐きながら足を上げる。
- ④息を吹いながら膝を離し、足を下ろす。

回 数

10秒／5回以上／日

ストレッチング

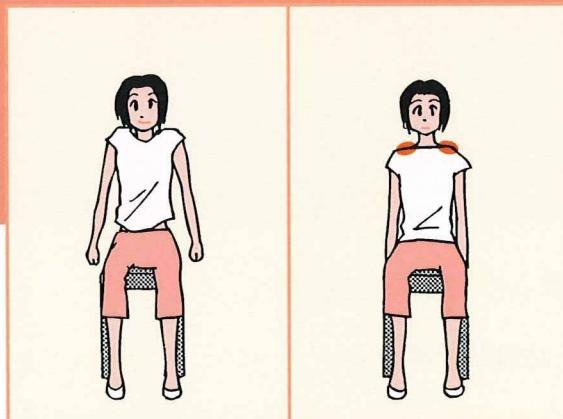
(stretching)

ストレッジング時の注意点

1. 呼吸は、止めないように。
2. 20秒から30秒程度、ゆっくり伸ばす。
3. 「痛い」と感じない程度に、適度に伸ばす。
4. ストレッチ部位の筋肉  が十分伸びている感覚を意識する。
5. 反動をつけたり、押さえつけたりしないように。
6. キャスター付の椅子は、転倒しないように。
● いつでも、どこでも、何度も。

上半身のストレッチング

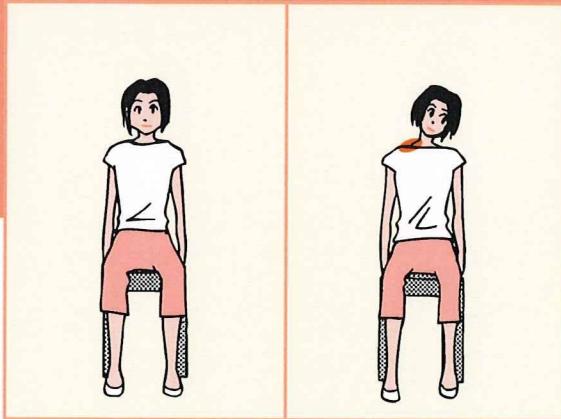
① 首まわり(僧帽筋)-1



方法

- ①背すじを伸ばす。
- ②両手は横に下ろす。
- ③両肩を上げてゆっくりと下げる。
(肩が下がった状態がリラックスしている)

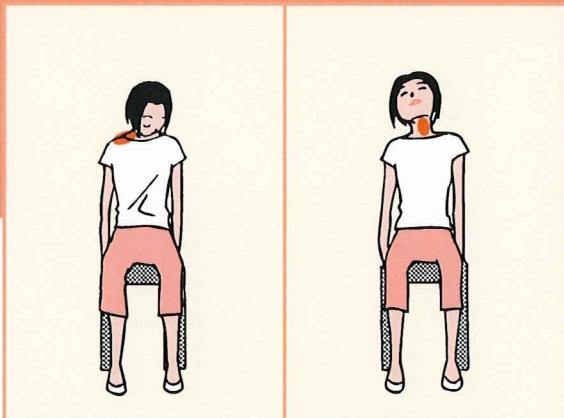
1 首まわり(僧帽筋)-2



方法

- ①背すじを伸ばす。
- ②両手は横に下ろす。
- ③頭を片方に傾ける。
(左右共に行ないましょう)

①首まわり(僧帽筋)-3



方法

- ①背すじを伸ばす。
- ②両手は横に下ろす。
- ③頭を前側半分は大きく回す。
- ④後ろ側半分は小さく回す。

② 胸部(大胸筋)



方法

- ①両手を後方で組む。
- ②肩を後方に引くようにして胸を前方へ出す。
※肩が上がらないようにしましょう。

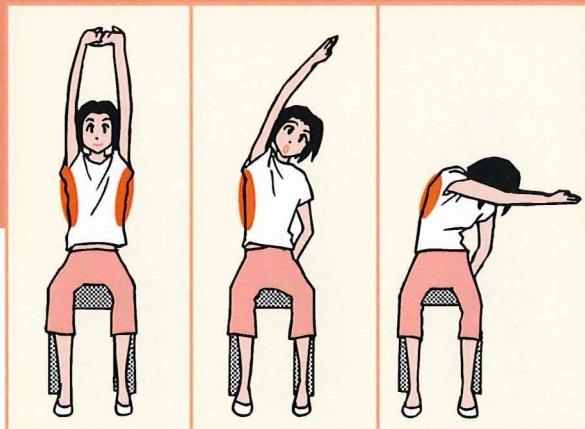
3 上背部(僧帽筋・菱形筋)



方法

- ①両手を前方で組む。
- ②両手を前方へ出し背中を丸める。
※肩が上がらないようにしましょう(首は見えるように)。
※背中の両肩甲骨を離すようにしましょう。

4 脇腹(広背筋)



方法

- ①胸の前で両手を組む。
 - ②頭の上方でバンザイし、大きく伸びをする。
 - ③傾ける側の手を椅子か太ももに置き、支えにする。
 - ④伸ばしたい側の手を斜め上方に伸ばす。
 - ⑤伸ばしたい側の手を斜め前方に伸ばす。
(左右共に行ないましょう)
- ※肩が上がらないようにしましょう。

5 肩と二の腕（三角筋・上腕三頭筋）

1

2

3



方法

- 1 ①一方の腕を前方に出す。
②もう一方の手で腕を持つ。
③胸に近づくように引く。
※肩が上がらないようにしましょう。
《肩の筋肉のみをストレッチ》

- 2 ①一方の腕を前方に出し、肘を曲げる
②もう一方の手で肘のあたりを持つ。
③胸に近づくように引く。
※肩が上がらないようにしましょう。
《肩と二の腕をストレッチ》

肩に余裕がある場合

- 3 ①一方の腕を頭の横に上げ、肘を曲げる。
②もう一方の手で肘を持つ。
③頭の方に引く。
※肩が上がらないようにしましょう。
《二の腕をストレッチ》

⑥ お腹の横あたり(腹斜筋)



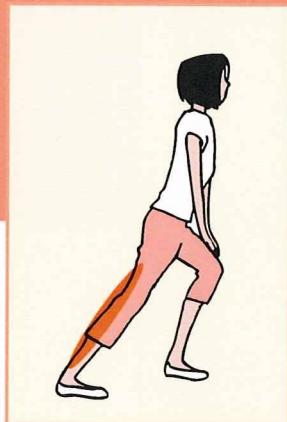
方法

- ①背すじを伸ばす。
 - ②両腕を横に出し、背骨を中心にゆっくりと後方へ捻る。
(左右共に行なう)
- ※肩が上がらないようにしましょう。

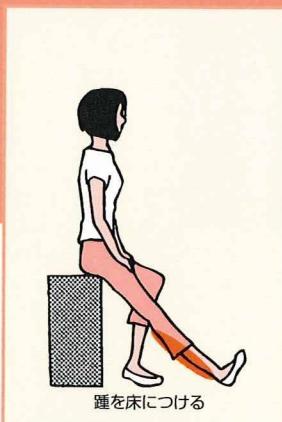
下半身のストレッチング

① ふくらはぎ(腓腹筋)

立位



座位



方法

- ①両足つま先を前方に向け、足を前後に大きく開く。
 - ②両手をももの上に置く。
 - ③頭と後方の足の踵が離れるよう（頭から踵まで一直線になるよう）前方の膝を曲げる。
(左右共に行ないましょう)
- ※つま先は前方に向ける。

方法

- ①椅子に浅く座る。
- ②ストレッチする足の膝を伸ばして前方に出す。
- ③足首を曲げる。
(左右共に行ないましょう)